



どんなおうち？ ～工法・仕様～

やっぱりきになる！
おうちの工法と標準仕様を紹介します。



工法

木造軸組工法

日本で古くから発達してきた伝統工法を簡略化・発展させた工法で、在来工法とも呼ばれています。基礎に土台を乗せて柱を立て、梁などの水平な材を渡して骨組みを作り、壁には筋かいという斜めの材を入れて補強するなど、木材の組み合わせで建物を支えています。この工法の長所は、柱の位置や長さを自由に設定できるため、デザインや間取りの自由度が高いこと。筋かいの入った壁以外なら、窓やドアなど開口部を自由に設けることもでき、内外観とも幅広く対応ができます。ひと昔前の木造軸組工法は大工の職人技が重視されていましたが、現在では精緻に機械加工された木材（プレカット工法）や、木材同士の接合に補強金物が採用されるようになっており、個人の技量による精度のばらつきもほとんど解消され、工期も大幅に短縮できます。

ベタ基礎

基礎の立上りだけでなく、底板一面が鉄筋コンクリートになっている基礎です。
家の荷重を底板全体で受け止め、面で支えます。
また、地面をコンクリートで覆うので地面から上がってくる湿気を防ぎ、シロアリも侵入しにくくなります。

標準仕様

設計・諸費用

- ・基本設計費用（自由設計）
- ・確認申請費用（代理申請・書類作成）
- ・地盤調査費用（表面波探査法）
※地盤改良費はオプションです（お客様の敷地で必要と判断された場合）
- ・瑕疵担保保険（JIO わが家の保険加入）
※国土交通大臣指定 住宅瑕疵担保責任保険法人 株式会社日本住宅保証検査機構
- ・定期点検（半年・1年・2年・5年・10年） ・その他

屋外工事

- ・仮設工事費用（足場・電気・水道・トイレなど）
- ・屋外電気工事、電気引込工事費用
- ・屋内給排水工事費用
- ・その他

構造

- ・木造軸組工法（在来工法）
- ・鉄筋コンクリート造ベタ基礎（防湿シート有）
- ・土台／ヒノキ
- ・柱／エンジニアリングウッド（赤松集成材）
- ・梁／エンジニアリングウッド（赤松集成材）
- ・剛床根太レス工法（24mm 構造用合板下地）
- ・断熱材／現場発泡ウレタン吹付断熱（壁 80mm・屋根 160mm）
- ・防腐／防蟻 5年保証
- ・キノパッキン工法
- ・その他

